

第12期（平成28年度）事業計画書

（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）

都城市吉尾町 473 番地の1
一般社団法人霧島工業クラブ
代表理事 益留 福一

1 事業方針

わが国経済は昨年10～12月期の実質GDPがマイナス成長になるなど、足踏み状態が顕著化しています。また中国経済の変調が著しく、年明け早々上海株が暴落して株式市場が混乱し、為替相場では人民元安が進んでいます。また、昨年の中国貿易統計によると、貿易総額もリーマン・ショックの影響があった2009年以来6年ぶりの減少となりました。世界中で牽引車が見つからない中、金融政策においても、日銀のマイナス金利導入など打つ手が無いようにも見受けられます。

厳しい経済状況の中でも、雇用面では各業界で人手不足感が広がり、求人倍率も以前に比べると高くなっています。地方創成の中心となる「ひと」の地元への定着を目指して、行政ではいろいろな動きがありますが、中小企業にとっては効果が出るまで待てない状況です。

幸い都城高専も組織に入っている「みやざきCOC+推進協議会」が発足しました。同協議会では各大学・高専の産業人材育成や、学生と地元企業への就職に関するマッチングなどを推進し、県内就職率や離職率の改善を目的としています。霧島工業クラブも同協議会へ全面的に協力して参ります。

また、産学官の連携で会員企業の価値創造を目指す取り組みとして、「社会実装教育」及び「アイデアソン」などの新しいアプローチの提案が高専の先生方からありました。各会員企業の若手人材を中心に取り組みたいと考えております。

当クラブも新年度新たに1社が入会し、これまで以上に地域の企業と都城高専との連携の橋渡しができるよう努力して参ります。さらに会員同士情報交換を密にして、経営力向上につなげ、地域経済の振興を目指していききたいと考えます。今年度も会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

（1）例会の充実

講演＋懇親会のスタイルで行う
国外視察の実施・・・オーストラリア視察の実施

（2）地域連携テクノセンターの活用による地域活性化の推進

都城高専と地域企業との共同研究の推進を図る
会員企業と高専教員・行政の産学官連携によるプロジェクトの推進

（3）産学官の緊密なネットワークづくり

都城高専・南九州大学・宮崎大学をはじめ九州沖縄農業研究センター、宮崎県工業技術センター、宮崎県食品開発センター、宮崎県木材利用技術センター、宮崎県総合農業試験場などの教育機関・公設試験場や宮崎県及び都城市、宮崎県産業振興機構、都城商工会議所などの産学官ネットワークをさらに緊密なものにしていく。
都城圏域産学官交流会の開催
都城高専のロボコン支援

（4）組織の充実

「ものづくり」をキーワードとした新規会員の加入を促進し会員企業25社を目標とする。

2 事業内容

(1) 産学官連携による各種プロジェクトの推進に関する事業（定款第4条1）

①. 農商工連携支援

都城ワイナリー及び都城ワイナリーファームのワイン醸造を支援する。また会員企業で取り組んでいる農商工連携プロジェクトを積極的に支援する。

②. 産学官連携プロジェクトの推進

「社会実装教育」及び「アイディアソン」などの新しいアプローチによるプロジェクト等の推進に努める。

③. 都城高専と地域企業等の共同研究の推進

都城高専と地域企業等の連携の橋渡し役として、共同研究を推進する。

(2) 工業振興施策の推進及び提言・要望に関する事業（定款第4条2）

①. 都城圏域産学官交流会の開催

都城圏域企業、大学、高等学校、高専、専門学校、職業訓練校、宮崎県、都城市の関係者等に呼び掛け意見交換および交流を行う。

実施期日：平成 28 年 6 月、場所：中山荘予定

(3) 各種講演会及び研修会に関する事業（定款第4条3）

①. 特別講演

各界から講師を呼び例会等の機会に特別講演を行う。

例会時に実施

②. 階層別社員研修

階層別の社員研修を行う

(4) 会員企業見学会及び先進企業視察に関する事業（定款第4条4）

①. 県内企業見学会

実施期日平成 29 年 2 月、見学先未定

②. 先進企業視察（国外企業）

実施期日平成 28 年 10 月、視察企業未定

(5) 関係機関・団体との連携協調に関する事業（定款第4条5）

①. 各団体の講習会・意見交換会・交流会などに参加

「みやざきCOC+推進協議会」との連携をはじめ今年度も多くの機関団体と連携をしていく。

②. 都城高専、南九州大学学生のインターンシップ実施

協力企業を募集し実施（平成 28 年 7～8 月）

(6) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業（定款第4条6）

未定